回覧

「石神台ガーディアン」2023年10月報告

2023（令和5年）年10月20日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
アドバイザー　小野修司

1）　団員数

昼間合同巡回実施者：　２７名
夜間合同巡回実施者：　２１名

以上のどれかの巡回をしている人数：　４８名
個人的に巡回している方56名、トータル104名（令和5年10月現在）

※不審者、不審車を見掛けたら、直ぐに警察へ連絡を！電話　72-0110

◎ 昼、又は、夜の巡回をお手伝いくださる方、ご連絡ください。（ワントライでも可）

ガーディアン連絡先；090－9313－8789中野靖久　mail；yasuhisa46@gmail.com

昼間合同巡回は10月2日（月）より開始しました。参加希望者は連絡ください。

2）　令和５年9月18日～10月15日の巡回実施状況

	昼	夜	
	実施日数	実施日数	延べ参加者
１丁目	２日	４日	１４名
２丁目	３日	６日	２０名
３丁目	３日	７日	２０名
全体	８日	１７日	５４名

3）登校時見守り　（今月は活動日数は18日間でした）朝のみまもりの協力をお願いします。

10月になりましたが猛暑や残暑が続き、体調不良でお休みの子供やコロナ感染により学級閉鎖もありましたが、第1週末にやっと涼しくなり秋を迎え、1年生の遠足があり、リュックを背負ったかわいい後ろ姿がみまもりメンバーを笑顔にしてくれました。

小学校は、二学期から自由登校（集団登校廃止）になり、仲の良い友達と元気に楽しそうに登校していますが、急激な温度変化により体調不良にならないで元気に登校出来るよう祈っています。（H.Y）

	延べ１７日間			
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	９０％を目標にしています。**左に表示のステッカーのない方はご連絡下さい。**
１丁目	９台	９台	１００％	
２丁目	３台	３台	１００％	
３丁目	１７台	**９台**	５３％	
全体	２９台	２１台	７２％	

5）ガーディアンの気持ち（10月号）

今年の猛暑には参りました。しかも期間も長～くて。さて10月に入り少し過ごし易い気温になってきたので女性グループ4人で松田町の「コキアの里」に行って来ました。松田町の知人から「今年のコキアは例年より色付きが早いので急いで見に来て」と連絡があり、10月2日に行くことに。
JR 二宮駅から国府津で御殿場線に乗り換え、4つ目の駅が松田でした。運賃はなんと240円と格安。ところが驚いた事に JR 御殿場線は「スイカ」のカードが使えないとの事、なので二宮駅で松田までの切符を購入しました。（切符を買うのは何年ぶりかしら？）駅から松田のハーブ園までが急坂で少しきつかったです。そこからさらに数百メートルのやや足場の悪い道を進んで行くとそこが「コキアの里」でした。例年は10月中旬が見頃との事。今年は8日にコキア祭りが予定されていましたが2日の時点で、すでに紅葉が終わりかけていました。それでも女性4人現地でソフトクリームを堪能、駅前でランチにサービスでアイスコーヒーが付いてきた事に大喜びをしたりと、ワイワイと賑やかで健康的なお出掛けが出来ました。万歩計では約 12,000 歩と少しハードなお散歩でした。皆様もご自分の体調とお天気のタイミングを見て近場のお出掛けはいかがです？　**（りんごの独りごとさん）より**

6）大磯警察より　9月16日～10月15日犯罪発生状況（生活安全課提供）

8/16大磯町国府本郷一般住宅：詐欺（架空請求詐欺）インターネット閲覧中、ウイルスに感染したとの偽表示により偽のサポートセンターへ電話し、コンビニでサポート費用として電子マネーを購入し、コードを教えてしまったもの。

9/26～28 二宮町駐輪場：窃盗（自転車盗）自転車の鍵をかけて駐輪場に止めていたところ、盗まれた。

10/2 二宮町一般住宅：器物損壊　自宅車庫に車を止めていたところ、窓ガラスを破壊されたもの。

10/3～4 二宮町中里 2 丁目一般住宅：窃盗（オートバイ盗）自宅敷地内に、ハンドルロックをしないでオートバイを止めていたところ、盗まれたもの。

10/3～4二宮町百合丘1丁目一般住宅：窃盗（オートバイ盗）自宅敷地内にハンドルロックをかけてオートバイを止めていたところ、盗まれたもの。

10/3～5　二宮町百合が丘1丁目一般住宅：窃盗（オートバイ盗）ハンドルロックをかけないでオートバイを止めていたところ、盗まれたもの。

10/5～6　大磯町大磯一般住宅：窃盗未遂（侵入窃盗その他）倉庫として使っている空き家の窓ガラスを割られ、室内に侵入され物色されたもの。

10/6～7　二宮町山西一般住宅：器物破損　自宅車庫に車を止めていたところ、フェンダーを蹴られて壊されたもの。

10/11～12 大磯町国府本郷一般住宅：窃盗（自転車盗）自宅敷地内に鍵をかけて自転車を止めていたところ、盗まれたもの。

特殊詐欺（オレオレ詐欺）、（還付金詐欺）の電話に注意！

※家の電話はいつも留守番電話に設定を！

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

https://ishigamidai.com　　海が見える街　大磯町石神台　検索

大磯警察　生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は：

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69003_12.pdf

大磯警察　駅前交番だより（おおいそ）は：

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69003_06.pdf

おまけのおまけシリーズ

「ガーディアンの気持ち」ならぬ「私の独り旅日記」→第１０回

今回は２０２３年６月２７日～２９日の２泊３日の JR 東日本の格安切符（5 日間新幹線＆在来線乗り放題１５，２７９円）での秘湯の温泉をめぐる独り旅でした。
今回も魅力いっぱいの楽しい旅でした。

１）　今回は山形県米沢市から最上川の源流に行く旅です。従って今までのように青森や北海道に行く時の新幹線「はやぶさ」でなく、山形行き新幹線「つばさ号」です。もしかすると山形行きの「つばさ号」は初めてかもしれません。
東京発８時５６分~~なので~~といつもより少し遅い出発なので、東京駅でまずコーヒーを買って出発少し前まで待合室でコーヒーを飲みながら「マン・ウォッチング」をしました。何故かと申しますと、私は 2 年前から一人旅をするようになったからです。
　まずサラリーマンの 8 割位はスマホやタブレットで仕事なのか？ゲームなのか分かりませんが、おにぎりやサンドウィッチを食べながらやっています。そう言えば最近新聞や週刊誌を読んでいる人が少ないように思えました。割とお年寄りの女性グループはそれぞれ自分の好きな飲み物を飲みながらこれからの旅行のお話か？大きな声でぺちゃくちゃ。何故か、おじさんたちの旅行グループは少ないようです。若いカップルもスマホ片手に、何やらヒソヒソ話。何を言っているのか全く分かりませんが「マン・ウォッチング」は想像するだけで結構楽しいです。

　出発の 10 分前にホームに向かいます。慣れた旅なのと、もう一つ新幹線は出発の 5 分前位に列車のドアが開き、5 分後の定時に静かに出発します。
日本の汽車、電車の時間の正確さは世界に有名です。
　新幹線に乗ると、いつものように何組かの line グループに安否確認を兼ねてメールしていると、なんと 2 時間ちょっとで米沢に着いてしまいました。米沢駅に着くと小雨模様。そうか今は梅雨の最中かと。宿からの迎えのマイクロバスは 2 時の約束なので、駅の観光所に行って、どこか観光名所はないか？と聞くと、駅前から市内バスで 15 分程で上杉謙信公園があると言われて、早速行くことにしました。
そうか、ここ米沢は謙信の町でした。上杉鷹山は 17 歳で上杉家 9 代の当主になった人物だが、歴史に疎い私でも「為せば成る、為さねばならぬ何事も…」は知っていました。米沢も素晴らしい人物の生まれた所と感心しきりでした。

２時丁度に送迎マイクロバスが来てくれて、乗ったのは私を含めて４人。
運転手は道すがら「今から５０分程で、海抜 1400 メートル位登って、そこからは８００メートル、高低差 300 メートルほどを歩いて頂きます。」とこともなげに
説明します。私は思わず「えっ！？」と叫んでいました。約５０分で海抜 1400 メートルまでの路は、テレビで見る「こんな所に 1 軒家」どころではなく、断崖絶壁で何回も切り返しがあり、いくつもの「落石注意」の標識とマイクロバスは縦揺れと横揺れを繰り返し、頭を車の天井にぶつけながら、進みました。もっとびっくりしたのは、途中で急に車を止めると、太い木が地上 1 メートルほどの所で木の皮がめくれていて、運転手はこともなげに「昨日まではこれはなかった、これは熊がかじった跡です」と。するとまた誰かが「えっ！まさか？」と。スリルの連続でした。
皆さんもドライブで山道の「落石注意」という標識を見ると思いますが、どのように注意をするのですか？私はいつも不思議に思います。
800 メートルの距離で 300 メートル下る。誰か平均斜度計算してくれませんか？
そうこうしている内に問題の 1400 メートル地点になり、「荷物はそのままでいいから、ここからはマイクロバスは行けませんから、皆さんは歩いて宿まで行って頂きます」と。4 人は歩き始めます。何故か 1 番高齢な私が宿の手前のつり橋の所まで一番早く到着したのです。他の 3 人（一組の５０代位のご夫婦？と矢張り 50 代位の一人の男性）の一人が、「どうしてそんなに早いのですか？」と聞いてきたので「昔、山登りをしていたのと、今でも地域で夜、防犯パトロールをやっていますから」と。（しかし、いつも一緒に巡回している、3 丁目のＳさんは知っています。3 丁目で 1 番急な坂の 50、60 メートルを今や、やっとの思いで登っていることを）
自分でもわかりませんが、何故か頑張ってしまうのです。
宿の手前 50 メートル程のつり橋を揺れながら歩いて、やっと午後 3 時半頃、
宿の「滝見屋」に到着。「ヘロヘロ！やれやれ！」でした。これぞ「秘境の宿！万歳」
苦労して来た甲斐があって、宿も露天風呂も最高に良かった。露天風呂のすぐ外を清流が流れていて、岩魚の釣り人が 2 人。私が「釣れていますか？」と聞くと、「今日はダメだね」と、すぐそばから返事が返ってきた。
露天風呂は「カメラ禁止」も「写真撮影禁止」の看板もなく、大きな声では言えませんが、宿の方に裸の写真を撮ってもらいました。
宿から見える 1 キロほど先の小さな滝付近が最上川の源流とか。ここがあの「五月雨を集めて早し最上川」の始めだと思うと、小さな感動を覚えます。
滝まで急な登りで４０分位と聞きましたが、万が一を考えて止めました。

本日の宿泊者は釣り客 2 組を入れても 7～8 人（夏になると宿は満員になるそうです）食堂ではあまり飲めないビールなどを飲みながら美味しい山菜料理やイワナの塩焼きなどを堪能しました。

驚いたことがまだあり、宿の若女将（安部里美さん）は飛び切りの美人で地元の雑誌「よねざわ」の表紙を飾るような美人でした。一緒に写真を撮りたかったが、何故か言い出せなくて、あとで line グループの人に言ったら「小野さんらしくない、もう 1 度行って写真を撮ってもらいなさい。」と言われましたが、今や遅しです。

この若女将の素晴らしいのは数年前に台風の被害に遭い、宿が流されて、宿を閉めようとしたのだが、再建を熱心に勧める人達がいて、再建したという。このことがテレビで放映されて、そんな美人がいる宿を訪ねる人も多いという。そういえば

今回、一緒になった５０代のご夫婦もそんな一組でした。私と言えば、ただ「日本の秘湯」という本を見て来ただけでしたが。

2）　次の日（28 日）は米沢から奥羽本線で湯沢に出ます。

そうそう忘れていました。28 日は「滝見屋」から米沢へ出るのです。生憎朝から大雨でした。それでも私は 800 メートルの登りを覚悟して、雨具の支度していると宿のおかみさん（若女将、里見さんの母親）が軽自動車で米沢まで用事があるから乗せて行くと言う。なんという幸運！と思うと同時に次に、このおかみさん（失礼ながら 70 歳は超えている？）と想像すると複雑な気持ちになりましたが、「まあ、いいか！」ここは運を天に任せるとはこのことか、と心に決め、この雨と急坂の登りを事を考えると、お言葉に甘えました。ところがあに図らんや、このおばあさん（失礼！）慣れた運転さばきで軽自動車でも何回も切り返しながら米沢駅まで送って頂きました。ラッキー以外何物でもありませんでした。何度もお礼を言いました。

28 日は湯沢からバスで 1 時間半程の奥にある阿部旅館でここも秘湯の湯の宿でしたが、どうしても昨日の宿「滝見屋」と比べてしまうので書くのを省略します。

29 日の朝は阿部旅館からまたバスで湯沢駅に出て、駅の観光案内所で湯沢の町の名所に行きたくて聞いてみると、歩いて行ける米沢城址あるからそこを勧められて行きました。しかし城址というだけあって、昔の城跡だったので、早々に湯沢の町に戻り、これも聞いていた湯沢はあの「稲庭うどん」の発祥地で、うまいお店も紹介して頂き、美味しい「稲庭うどん」を頂きました。これは本当に美味しかった。

また、余談ですが、湯沢というと皆さんも新潟の湯沢を思い出しますが、湯沢は

山形の方が古く、新潟の湯沢は正式には「越後湯沢」となったとのこと。

　湯沢からは再び奥羽本線で新庄に出て、新幹線で上野→大磯へと帰ってきました。今回の 2 か所の秘湯の湯の宿を加えると 9 か所となりあと 1 か所でめでたく 10 軒になるから記念の宿は良い「秘湯の湯の宿」にしようと考えながら大磯の誰もいない自宅に戻りました。　（by テツ＆ゴン）